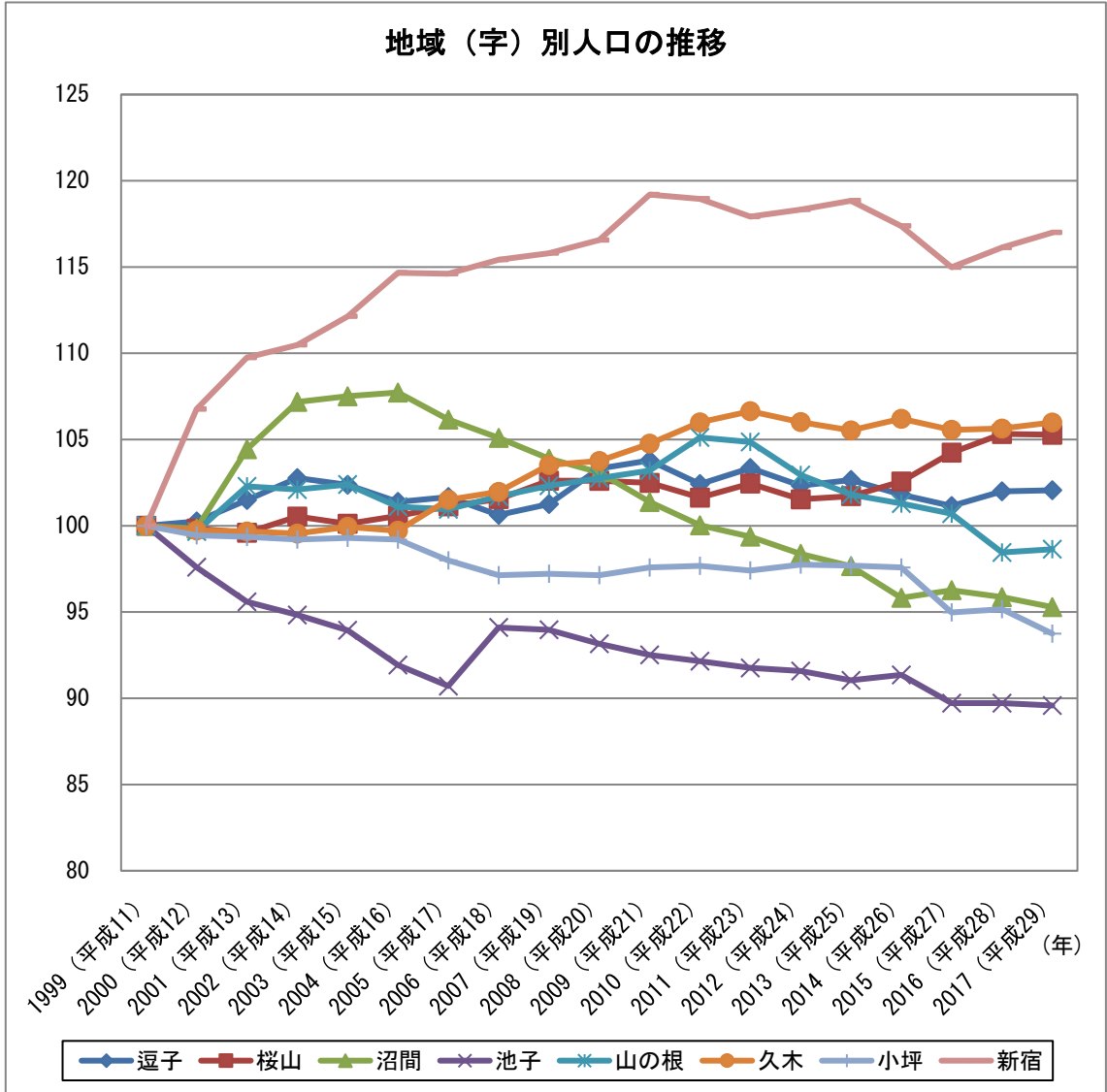


逗子市人口ビジョンにおける人口の現状分析データの更新

※平成 30 年 7 月 20 日現在において、把握できるデータについて更新するものです。

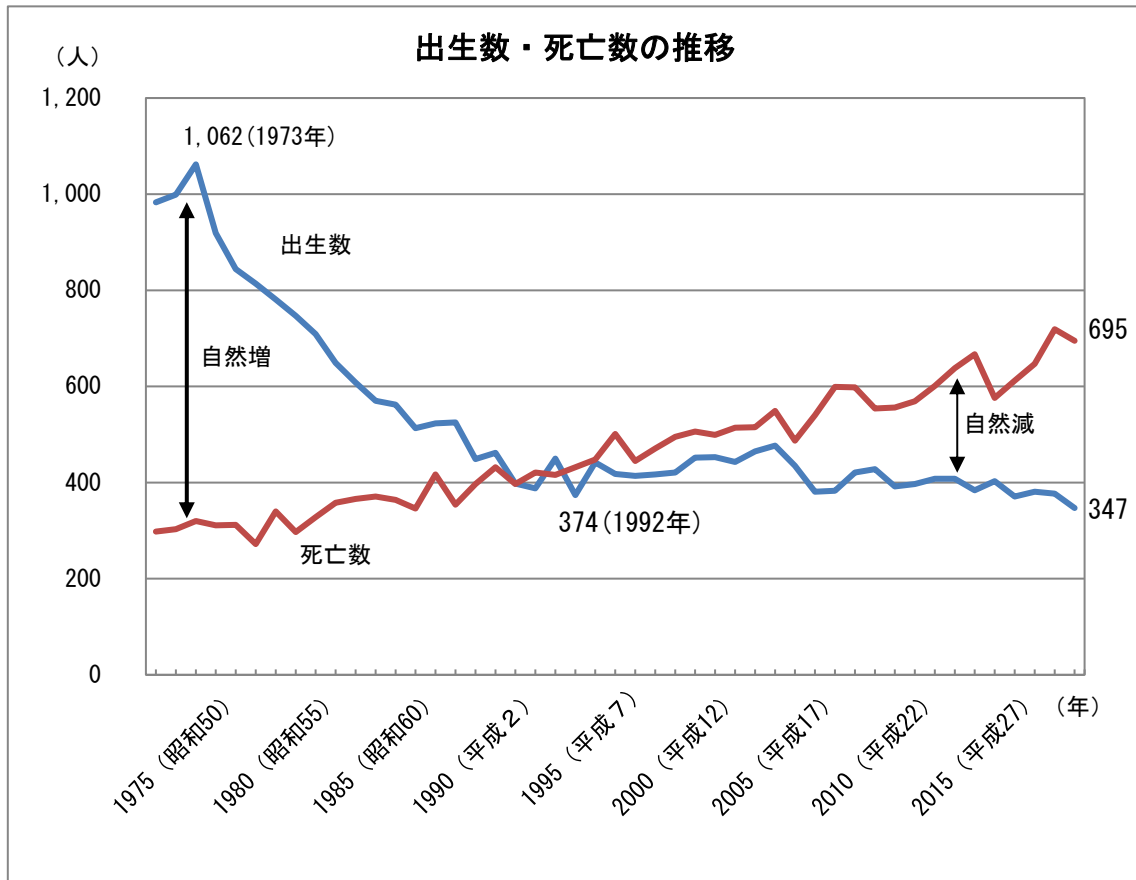
3. 地域別人口の推移 (p.6)



(資料) 逗子市総務課「統計ずし」
 (注)「池子」の数値には、池子米軍家族住宅地区の数値は含まれない。
 ※2016 年（平成 28 年）及び 2017 年（平成 29 年）の数値を追加

4. 人口動態

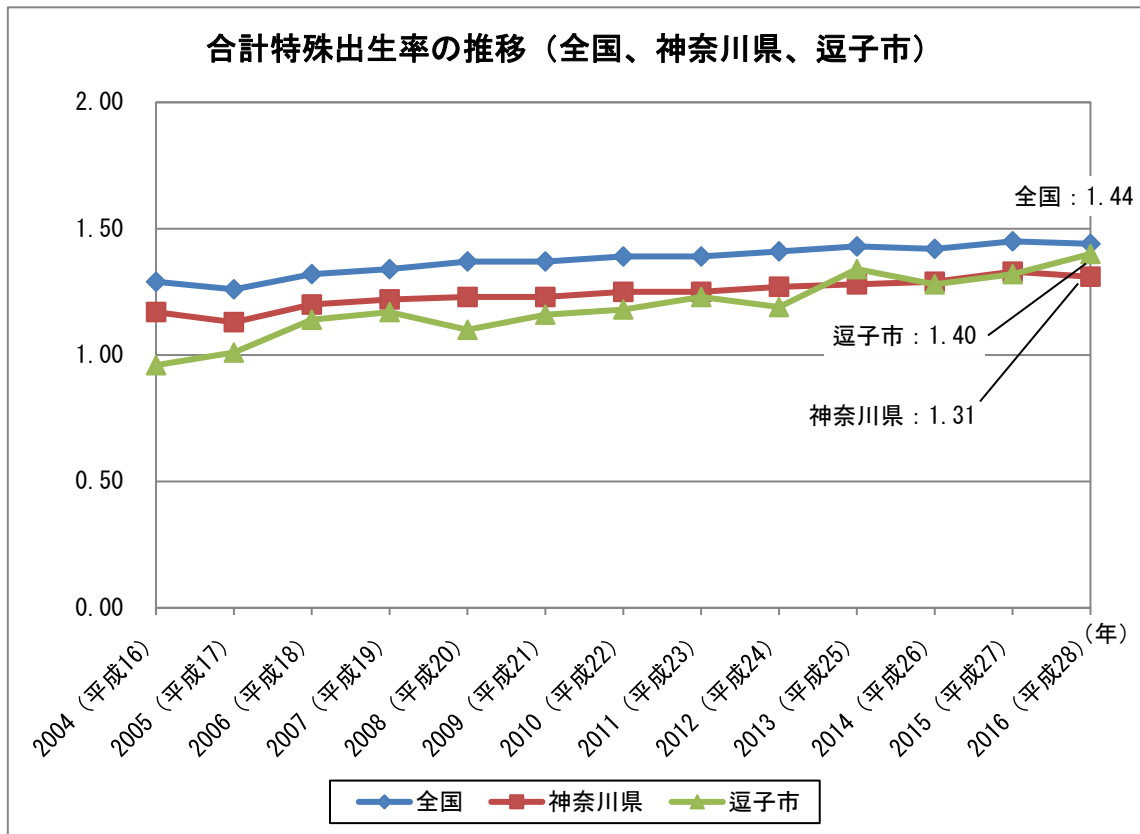
(1) 自然動態の推移 (p. 7)



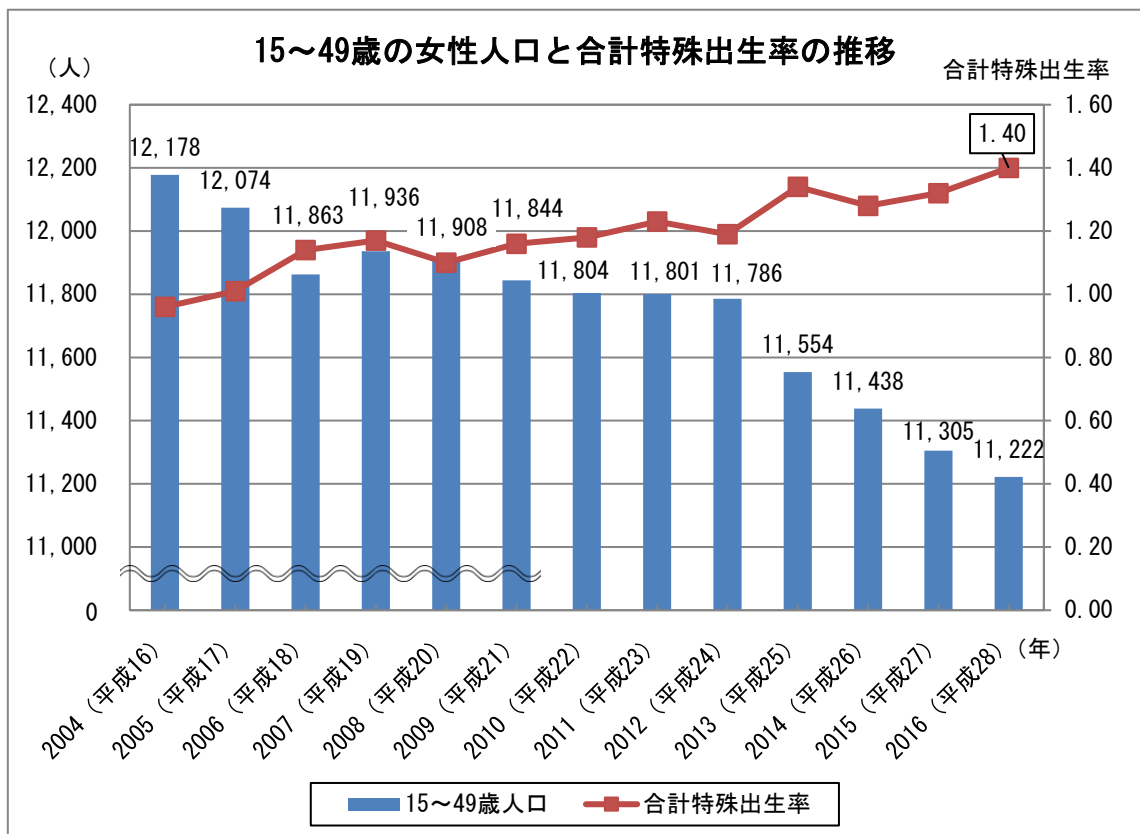
(資料) 逗子市総務課「統計ずし」

※「神奈川県人口統計調査」2017年(平成29年)の数値を追加

(2) 合計特殊出生率の推移 (p. 8)

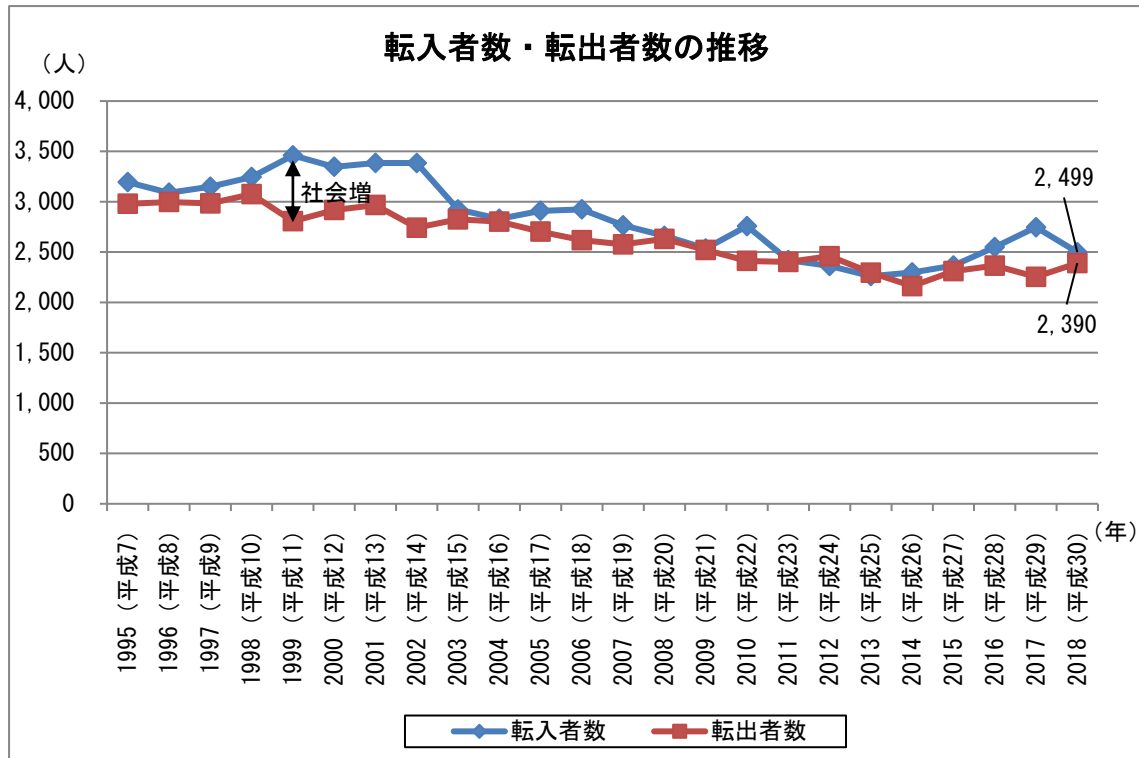


(資料) 国の数値は厚生労働省「人口動態統計」、神奈川県及び逗子市の数値は「神奈川県衛生統計年報」
 ※2016年(平成28年)の数値を追加



(資料) 逗子市総務課「統計ずし」、神奈川県「神奈川県衛生統計年報」
 ※2016年(平成28年)の数値を追加

(3) 社会動態の推移 (p. 10)

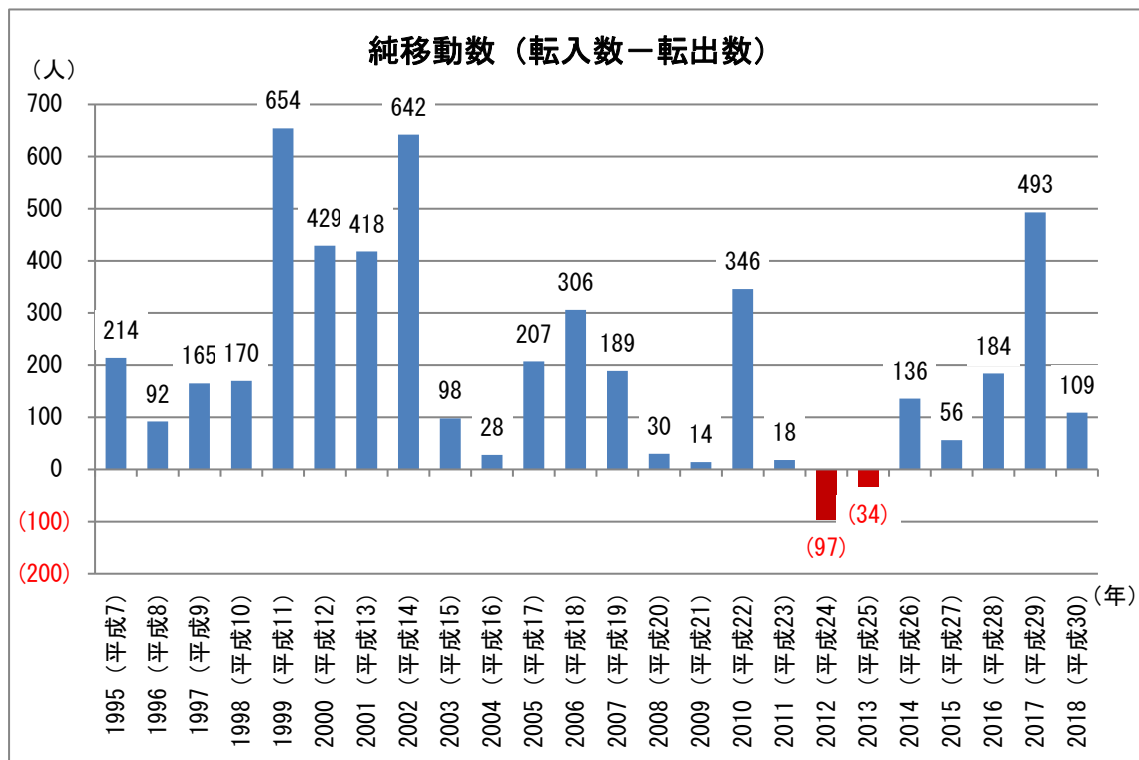


(資料) 地域経済分析システム

(元のデータは総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数に関する調査」)

※2013年(平成25年)までは4月1日～翌年3月31日の数値、2014年(平成26年)からは前年の1月1日～12月31日の数値

※2018年(平成30年)の数値(平成29年1月1日～12月31日)を追加



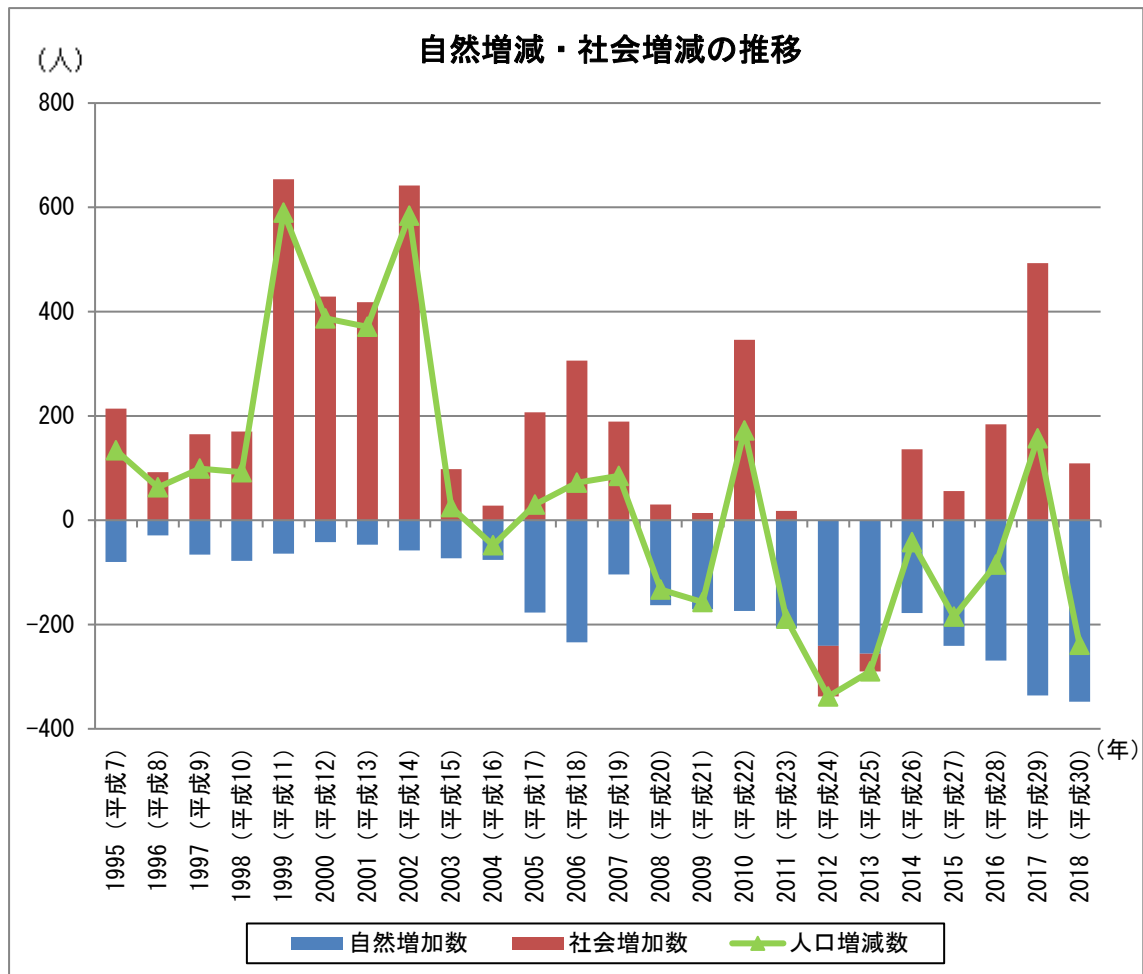
(資料) 地域経済分析システム

(元のデータは総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数に関する調査」)

※2013年(平成25年)までは4月1日～翌年3月31日の数値、2014年(平成26年)からは前年の1月1日～12月31日の数値

※2018年(平成30年)の数値(平成29年1月1日～12月31日)を追加

(4) 自然動態・社会動態の推移 (p. 12)



(資料) 地域経済分析システム

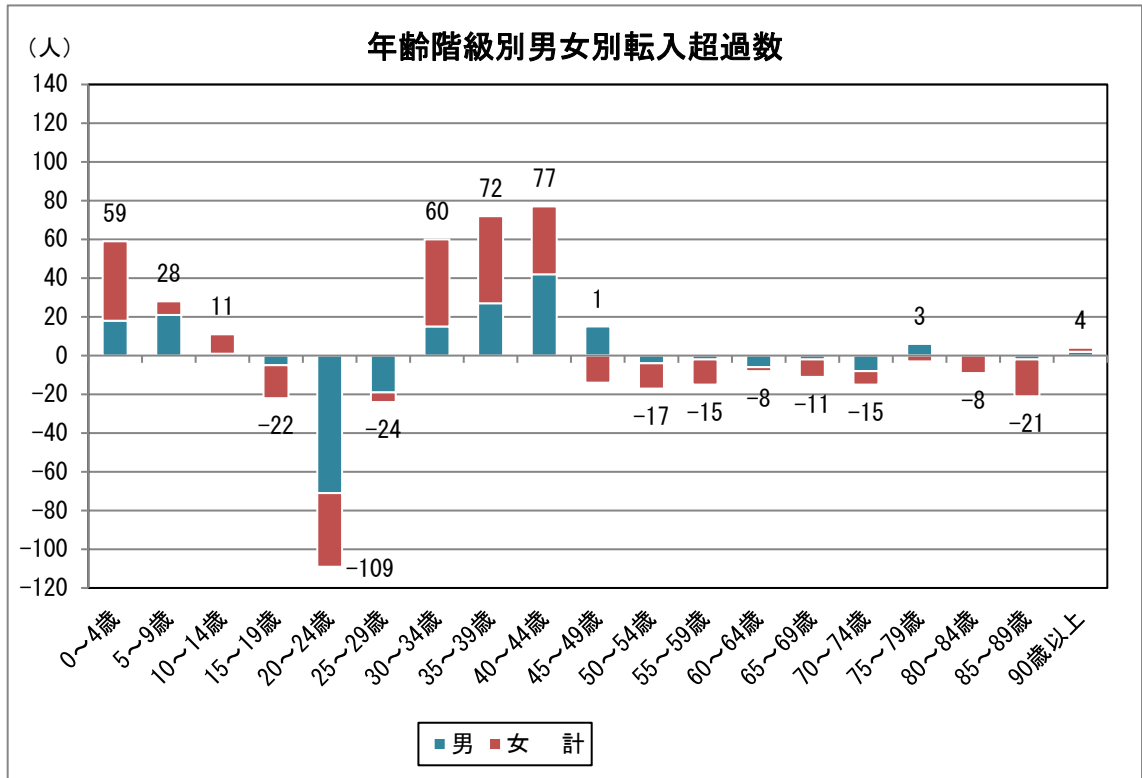
(元のデータは総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数に関する調査」)

※2013年(平成25年)までは4月1日~翌年3月31日の数値、2014年(平成26年)からは前年の1月1日~12月31日の数値

※2018年(平成30年)の数値(平成29年1月1日~12月31日)を追加

(5) 年齢階級別人口移動の傾向 (p. 13)

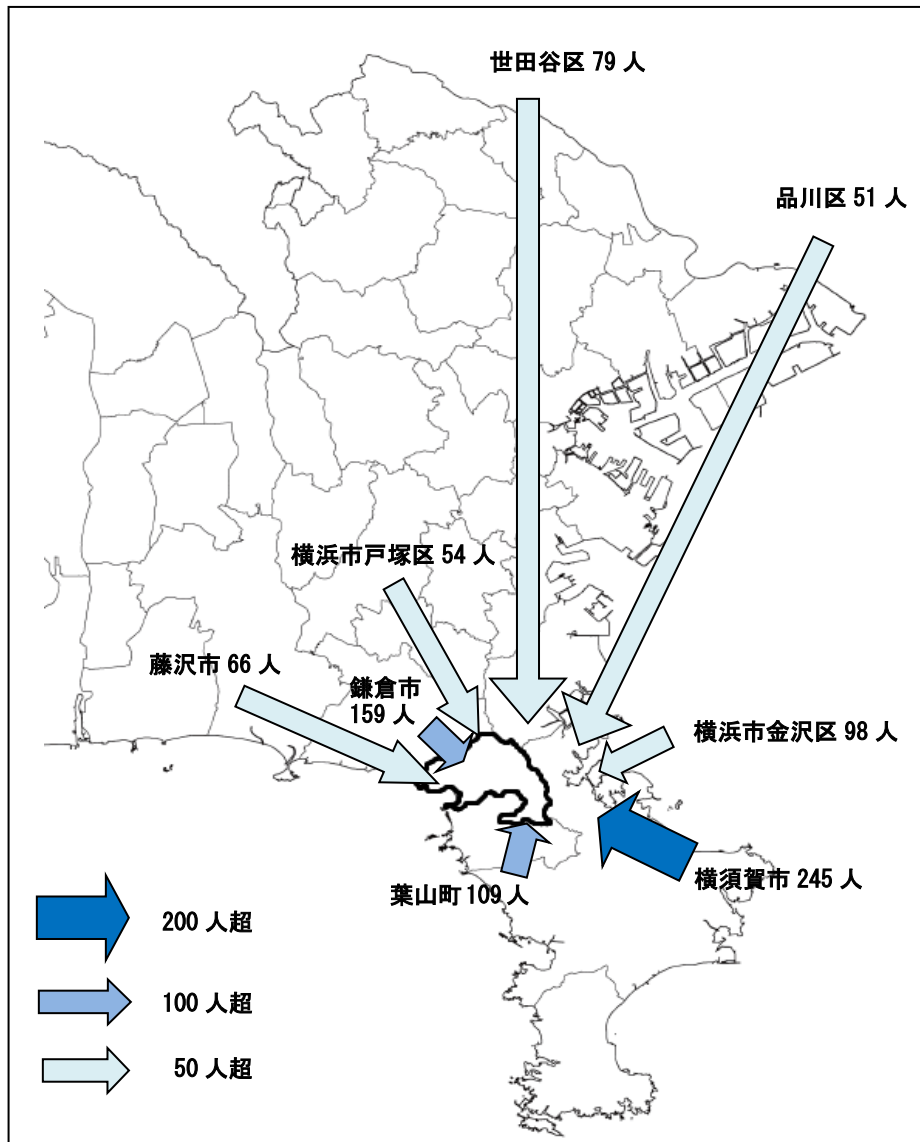
5年間ごとの純移動数の推移については、更新データなし



(資料) 総務省「住民基本台帳人口移動報告」2017年

(6) 人口移動の状況 (p. 15)

返子市への転入状況 (50 人超の転入のある市区町村)



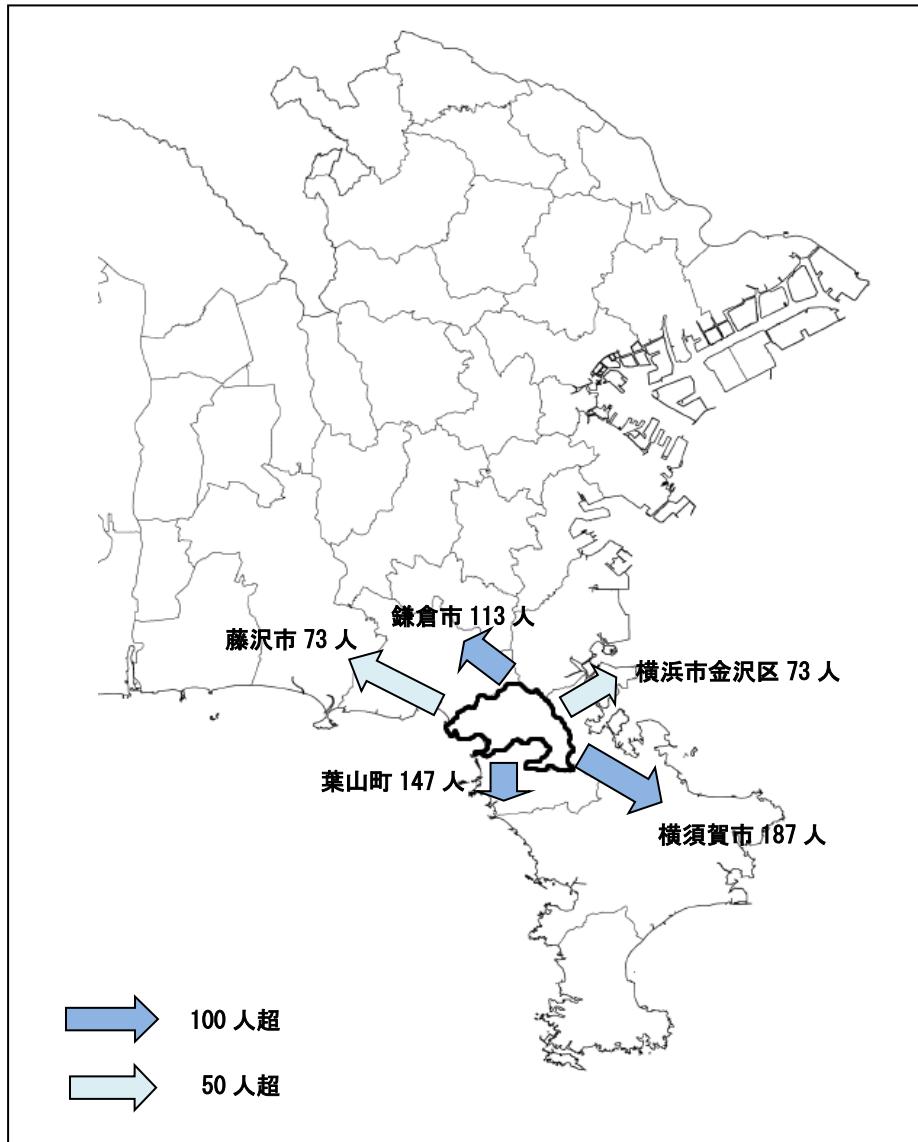
(資料) 地域経済分析システム (元のデータは総務省「住民基本台帳人口移動報告」)
 ※2016 年 (平成 28 年) のデータに更新

転入者数の上位 10 市町村 (2015 年度との比較)

	2016 年 (平成 28 年)	人数 (人)	比率 (%)		2015 年 (平成 27 年)	人数 (人)	比率 (%)
1位	横須賀市	245	10.0	1位	横須賀市	197	8.7
2位	鎌倉市	159	6.5	2位	葉山町	131	5.8
3位	葉山町	109	4.4	3位	鎌倉市	124	5.5
4位	横浜市金沢区	98	4.0	4位	世田谷区	104	4.6
5位	世田谷区	79	3.2	5位	横浜市金沢区	100	4.4

(資料) 地域経済分析システム (元のデータは総務省「住民基本台帳人口移動報告」)

返子市からの転出状況（50人超の転出のある市区町村）



（資料）地域経済分析システム（元のデータは総務省「住民基本台帳人口移動報告」）
 ※2016年（平成28年）のデータに更新

転出者数の上位10市町村（2015年との比較）

	2016年 (平成28年)	人数 (人)	比率 (%)		2015年 (平成27年)	人数 (人)	比率 (%)
1位	横須賀市	187	9.2	1位	横須賀市	209	10.0
2位	葉山町	147	7.2	2位	葉山町	183	8.8
3位	鎌倉市	113	5.6	3位	鎌倉市	141	6.7
4位	藤沢市	73	3.6	4位	横浜市金沢区	63	3.0
5位	横浜市金沢区	73	3.6	5位	藤沢市	59	2.8

（資料）地域経済分析システム（元のデータは総務省「住民基本台帳人口移動報告」）

転入超過数の上位 10 団体 (2015 年との比較)

	2016 年 (平成 28 年)	人数 (人)	比率 (%)
1位	横須賀市	58	7.6
2位	鎌倉市	46	6.0
3位	世田谷区	34	4.4
4位	横浜市鶴見区	30	3.9
5位	品川区	27	3.5
6位	横浜市金沢区	25	3.3
7位	横浜市戸塚区	21	2.7
8位	横浜市緑区	20	2.6
9位	相模原市南区	19	2.5
10位	町田市	18	2.4

	2015 年 (平成 27 年)	人数 (人)	比率 (%)
1位	世田谷区	68	10.8
2位	横浜市金沢区	37	5.9
3位	横浜市青葉区	32	5.1
4位	板橋区	21	3.3
5位	川崎市高津区	19	3.0
6位	練馬区	18	2.9
	大田区	18	2.9
8位	横浜市旭区	17	2.7
	市川市	17	2.7
10位	川崎市中原区	15	2.4

(資料) 地域経済分析システム (元のデータは総務省「住民基本台帳人口移動報告」)

転出超過数の上位 10 団体 (2015 年との比較)

	2016 年 (平成 28 年)	人数 (人)	比率 (%)
1位	葉山町	38	11.1
2位	川崎市幸区	15	4.4
3位	海老名市	14	4.1
4位	横浜市栄区	12	3.5
5位	平塚市	11	3.2
	東村山市	11	3.2
7位	吹田市	10	2.9
	大和市	10	2.9
	中野区	10	2.9
10位	藤沢市	7	2.0

	2015 年 (平成 27 年)	人数 (人)	比率 (%)
1位	葉山町	52	11.7
2位	港区	21	4.7
3位	大和市	18	4.0
4位	鎌倉市	17	3.8
5位	中央区	15	3.4
6位	大磯町	13	2.9
7位	横須賀市	12	2.7
	川崎市幸区	12	2.7
9位	茅ヶ崎市	11	2.5
10位	三浦市	10	2.2

(資料) 地域経済分析システム (元のデータは総務省「住民基本台帳人口移動報告」)